

F-REDD Newsletter

Sustainable Forest Management and REDD+ Support Project
Nov 2015 - Oct 2020

持続可能な森林管理及びREDD+支援プロジェクト(F-REDD)

本プロジェクトの目的はREDD+に係る戦略策定、実施体制構築、実施のコーディネーションの支援と森林資源情報の整備などに係る能力の強化をはかり、それによってラオスの持続的な森林管理の促進に寄与することです。農林省森林局(M AF-DOF)を実施機関として協力しています。

REL/MRV合宿が開催されました

REDD+、特にREL^{*1}に関しては複雑なルールを理解する必要があり、かつ、対象物が目には見えない二酸化炭素などであることから、具体的な成果(支払い)がまだない国では相手国政府機関のオーナーシップがなかなか高まらないという一面があるかと思われれます。ラオス国でも2018年1月に気候変動枠組条約(UNFCCC)に提出したFREL^{*2}レポートは一部のカウンターパート以外は十分に内容を理解していると言えませんでした。

そこで、REL/MRV^{*3}合宿と銘打ち、2日間にわたり集中的に30名ほどが学ぶ機会を設けました。RELレポートの内容、UNFCCCとの質疑応答のポイント、MRV計画に関して学んだことに加え、実際のデータを用いてRELを参加者が再作成しました。参加者からは「体系的に学ぶ良い機会だった」、「所属部署の中でも学びを共有したい」、「JICAプロジェクトがどのような活動・支援を行っているのか良く分かった」、といった感想が述べられました。



グループごとにFRELを再計算している様子

森林法の改正作業が進んでいます

ラオスの現行森林法は2007年に改正されましたが、その後の森林やその管理状況、国内外での森林を取巻く状況の変化に合わせるため、2019年前半の国民議会における承認を目指して再改正の作業が進められています。主な改正内容は伐採や森林転用に関する規則の強化・精緻化、FLEGT^{*4}に対応した木材の合法性証明に関する制度やREDD+を含む森林環境サービスに関する制度の整備などです。なお、密接に関係する土地法改正案は2018年末の国民議会での審議・承認を目指し

て最終案が一般のコメントを得るため公開されています。

F-REDDは森林法改正案の英訳・配布、開発パートナーの意見のとりまとめ・調整、森林サブセクターグループにおける議論の企画、また、改正案起草チームとの意見交換を主催するなど、土地法改正案と整合が取れた、より効果的かつ現実的な改正案となるよう積極的に取り組んでいます。

*4 FLEGT (Forest Law Enforcement, Governance and Trade) : EUにおける違法伐採対策。持続的かつ合法的な森林管理を強化し、合法的に生産された木材のガバナンス・貿易を改善することで違法伐採を抑制することを目的とする。(http://www.euflegt.efi.int/what-is-flegt)

*1 REL (参照排出レベル) : FREL/FRLとも呼ばれる、REDD+実施の成果を定量化するためのベンチマーク。

*2 FREL (森林参照排出レベル) : 過去の森林減少や劣化あるいは増加に伴う温室効果ガス排出量の推移に基づいて推測された将来予測。

*3 MRV : 温室効果ガス排出削減の成果を測定 (Measurement)、報告 (Reporting)、検証 (Verification) するための仕組み。

アジア・太平洋地域の森林モニタリングワークショップに ラオスが参加しました

REDD+では森林モニタリングを通じて、森林保全状況の確認と政策のレビュー・見直し及び温室効果ガス排出・吸収の測定が求められています。これはフィールド情報収集とリモートセンシング等の先端技術の活用により実現し、各国の状況に適した組み合わせが重要となります。

9月にカンボジアでアジア地域の5か国（ラオス、ベトナム、カンボジア、ネパール、パプアニューギニア）を対象に、森林モニタリングに関するワークショップが5日間に亘り開催されました^{*5}。ラオスからは政府職員3名に加えて、F-REDDからラオス人スタッフ1名が参加し、ラオスの森林モニタリングを紹介するとともに、GFOI^{*6}が準備したツールに沿って自国の現状評価や今後の優先活動を検討しました。

帰国後、参加職員は早速学んだ内容と将来のNFMS^{*7}について同僚と議論する会議を計画しています。F-REDDもこの機運を活かしてラオスの森林モニタリング支援をさらに推し進めたいと思います。



森林モニタリングの関連図を
作成するラオス参加者

^{*5} 「Country Needs Assessment workshop: Asia-Pacific」 GFOI・FCPF共催、2018年9月17日～21日、カンボジア。

^{*6} GFOI (Global Forest Observation Initiative)：森林モニタリングおよび温室効果ガスの算定など発展途上国におけるREDD+およびそれに付随する活動に資する国際的な支援を行うパートナーシップ。(http://www.gfoi.org/)

^{*7} NFMS (国家森林モニタリングシステム)：森林由来の温室効果ガス排出・吸収量を推定する基礎としてREDD+活動をモニタリング・報告する仕組み。

成果毎の主な活動

成果1：中央政府の森林セクター支援

- ◆森林法改正案作成

成果2：REDD+実施による排出削減・吸収増加量の測定支援

- ◆REL/MRV合宿
- ◆3rd NFIキックオフミーティング

成果3：国レベルのREDD+支援

- ◆FCPF炭素基金向け案件計画書（最終案）提出および技術審査、最終審査対応

成果4：ルアンプラバン県のREDD+準備支援

- ◆PAREDDモニタリング
- ◆ウドムサイ県社会経済調査

コンタクト

プロジェクトオフィス

Kouvieng Street, Sisaket Village,
Chanthabouli District,
Vientiane Capital, Laos
Tel & Fax: 021(22)2536

プロジェクトHP

[http://www.jica.go.jp/
project/laos/018/index.html](http://www.jica.go.jp/project/laos/018/index.html)

次期四半期のイベント

Oct.

森林法改正案に関する意見交換会

Nov.

3rd NFI研修

森林法改正案に関する意見交換会

Dec.

第6回REL/MRV技術作業部会会合



農林省
Ministry of
Agriculture and
Forestry (MAF)



独立行政法人
国際協力機構